

虹色の谷から

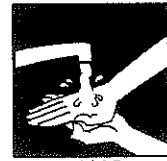
第 33 号

2017. 2. 15
第二やすらぎの郷
(小浜市深谷10-1-4)

こんな取り組みをやっています
その① ユニットケア



トイレ



てをあらう



きゅうしょく



デザート

PICシンボルは上記のような絵カードで、白黒のものとなっており、余計な刺激がないよう配慮されてます。

この支援が取り入れられ、古くからカードに馴染みのある方に関しては、カードを提示すると指を差し確認されたり、慣れてくると、利用者様の方からスタッフの手持ちのカードを要求し訴えてこられる様子も見られました。言葉での訴えが難しい方にとって、PICシンボルは強い味方であり、日々の生活の不便さが多少なりとも軽減できたように見ていて感じました。しかし、やはり、カードに馴染みのない世代の方にはなかなか浸透しにくいといった様子もありました。この支援を取り入れ約3年が経過しました。このPICシンボルによって生活のし辛さが解消された方が数名でもおられる限り、継続し取り組んでいきたいと思っています。そして、近い将来、PICシンボルが第二やすらぎの郷の共通の言語となる日を夢見て、日々取り組んでいけたらと思っています。

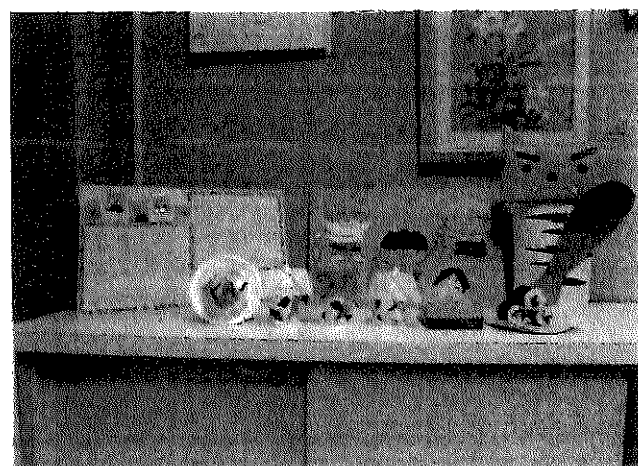
「19のいのち」

神奈川県津久井やまゆり園で起きた過去に例をみない凶悪な犯罪…その衝撃は事件から時が経つにつれ、少しずつ社会から薄れつつあります。失われた命の重さを…確かにここにあった生命の証を、NHK WEB NEWS、「19のいのち」というサイトで語られています。

私共も施設で働くものとして、決して忘れてはならない出来事です。「NHK WEB NEWS 19のいのち」で検索をかけていただきますと、ご覧になることができますので、機会があれば一度ご覧になってください。

四季の変化を形に...

日中活動の造形で作成した作品を玄関に展示しています。お時間あればぜひ立ち寄ってご覧ください。個性光る素敵な作品が盛りだくさんです。



当事業所では、昨年4月より新たな試みとして生活の場や活動の場において、ユニットケアを導入しています。

このユニットケアは、顔馴染みのスタッフが、利用者様一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した暮らしをサポートするということを目的としています。

この形を取り入れ、約1年が経過しました。そこで、この形にしてよかったなあ…と感じる点を、スタッフ目線ではありますがいくつか上げさせていただきたいと思っています。

◆個別ケアの実現により、支援が行き届きやすくなった。

◆ユニットに担当スタッフを配置することにより、利用者様が誰を頼りにすればいいかが明確になり、要望を出しやすくなったように感じる。

◆活動において、以前は一つの枠組みにあてはめるような形で活動しがちであったが、個別対応になり、一人ひとりの特性に応じた対応ができるようになった。

◆対応スタッフが統一されているので、顔馴染みとなり、安心した生活が送れているように実感している。

◆以前に比べ、利用者様の思いを尊重できている部分が多くなり、快適な生活が送れているように感じる。また、ストレスの軽減も図れているように思う。

以上のご意見がありました。走り出したばかりの支援で、まだまだ十分ではありません。しかし、個別ケアの実現により、お一人お一人の生活が以前よりも少しではありますが、快適なものになっているのではないだろうか…とスタッフ一同実感しております。新たな試みですので解決すべき課題もたくさんありますが、利用者様の日々の生活が、より豊かで安心したものとなりますよう、スタッフ一同、努力していきたいと思っています。

その② PICシンボル

平成25年より、「PICシンボル」といったコミュニケーションカードを活用し、利用者様との意思伝達を図っています。現在、主に使用しているカードは14枚あります。